

# 昭和51年度予算成立

## 総額十三億七、九〇〇万円

### 51年度 予算の特色

昭和五十一年度予算は、堅実で均衡のとれた健全財政を前提とした、積極中型の通年予算となりました。

特に文教、福祉対策の強化、また、住民要望の多い道路整備につ

いては、国の景気浮揚対策として手当てされる臨時市町村道路整備債をベースとして積極的に事業費を計上したので、大幅な整備促進が期待できると思います。

また、反面では職員の新規採用の停止、欠員不補充などの措置による人件費の節減や物件費の抑制等経常的経費の削減に、特に配慮しています。

### 予算の概要

#### 「歳入」

表1のよう

## 一般会計予算 8億8,000万円に

に地方交付税  
四億二千万円  
(四十七、七  
% ) 町税一億四  
千九百九十五  
万七千円(十六  
%) 国庫支  
出金九千六百  
四十二万八千  
円(十一、〇  
%)、県支出  
金四千二百五  
十二万一千円

(四、八%)、町債四千二百万円  
(四、八%)、繰入金六千四百四  
十四万円(七、三%)などで構成  
されています。

このうち町債は、町道整備事業  
債として四千万円、学校建設債二  
百万円の計上であり、また、繰入  
金については、食肉センターから  
の繰入れ二千万円、財政調整基金  
のとりくずし四千四百四十四万円  
を手当てしたものです。

#### 「歳出」

歳入構成の四十七、七%を占め  
る地方交付税については、五十年  
度決算額四億七千八百九十五万  
九千円をかなり下回る内輪な計上と  
なっていますので、今後かなりの  
増額が期待できます。

表2のように人件費二億六千三百  
五十万一千円、補助費二億三千三  
万五千円、建設事業費一億四千四  
百五十五万一千円、扶助費一億二  
千四百四十二万八千円などで構成さ  
れています。

なかでも補助費については、東  
陽病院に対する負担金一千六百  
十一万九千円、八匠水道企業団へ  
一千四百九十七万一千円、環境衛

生組合へ一千二百三十三万二千円  
東総衛生組合へ五百万円、消防組  
合へ三千百八十八万円、九十九里  
水道企業団へ百七十三万三千円、広  
域市町村事務組合へ九百四十二万  
七千円などの一部事務組合に対す  
る負担金が多くなっています。

扶助費は老人医療費三千九百八  
十六万七千円、児童措置費七千七  
百万円などです。

建設事業費については、道路整  
備事業として一億六百万円、消防  
施設整備一千八百八十三万八千円  
東陽小音楽室建設八百万円、公民  
館整備の二百四十七万円などが主  
なものです。

### 51年度の 主な事業

◎道路整備事業(舗装延長一〇  
五〇〇m)

- ・光四号線(富下→宝米)・東陽  
一号線甲(桑郷地先→西高野)・  
白浜十二号線(白磯→尾垂)・東  
陽二号線(入→谷中)・関、木戸  
線(飯岡→片貝線、飯岡→一宮線)  
光一号線(小田部地先)・農道原  
方線・木戸、五ノ神線、長塚、五  
ノ神線(農道舗装非補助事業)

◎改良工事

- ・二又、市野原線(五十年度継続  
事業)

◎消防施設整備事業

- ・防火水槽設置(富下、篠本二区  
三区、篠原)・機庫新設(母子、  
芝崎、長塚、五ノ神)・積載車(宝  
米)・可搬ポンプ(作間内、宮内)

◎学校建設事業

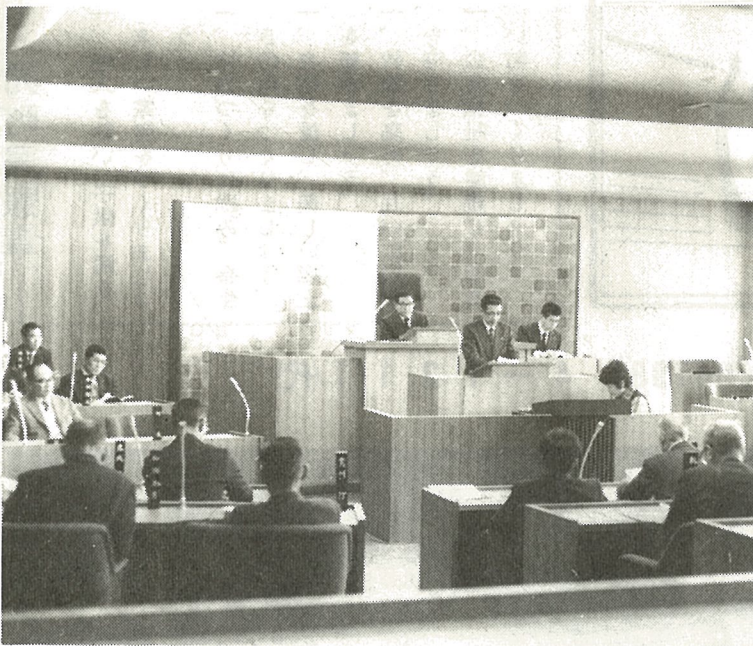
- ・東陽小音楽室建設(木造亜鉛棒  
葺平家建一六m<sup>2</sup>)

◎農協振興事業

- ・野菜出荷近代化事業(電子計算  
機導入)・畜産振興事業(おがく  
ず畜舎設置、優良純粋種豚導入)

◎保育所児童措置費助成事業

- ・保育料の年度内改訂分を町が負  
担し、各保育園の格差の是正、一  
〇〇円未満の端数を切り捨て徴収。



予算審議中の3月定例議会